

第11回 SPring-8 ユーザー共同体 (SPRUC) 放射光構造生物学研究会

「近未来の放射光構造生物学研究を考える」 ～自動測定の実現と SPring-8 アップデート～

日時 2019年6月26日(水) 16時45分～18時45分

場所 神戸国際会議場 5階 501 (E会場)

開催趣旨

XFEL や CryoEM の目覚ましい進展など構造生物学はまさに大きな転換期を迎えているなか、回折構造生物学も過渡期に突入している。大型放射光施設 SPring-8 でも、アップグレード計画が検討されているほか、構造生物学ビームラインでの様々な自動測定技術の発展、新ビームライン BL45XU の稼働、理研の CryoEM の配備といった取り組みが見られる。

本研究会では SPring-8 の最新情報をユーザー共同体で共有し、SPring-8 アップグレードに期待することを議論する場としたい。

最後に、SPring-8/SACLA の利用者の方々だけでなく、放射光を用いた構造生物学の関係者の皆様のご参加を心よりお待ちしております。http://bioxtal.spring8.or.jp/ja/SPRUC/spruc_top_ja.html

プログラム

開会挨拶 (16:45-17:00)

栗栖源嗣 (阪大蛋白研)

話題提供 *発表 15 分, 質問 5 分/人

話題提供 1 (17:00-17:20)

ZOO system を用いた自動回折データ収集の実際
大戸梅治 (東大院薬)

話題提供 2 (17:20-17:40)

SPring-8 PX-BL における結晶化および結晶化プレート in situ 測定環境の整備
奥村英夫 (JASRI)

話題提供 3 (17:40-18:00)

相関構造解析プラットフォームに向けた取り組み
山本雅貴 (理研 RSC)

話題提供 4 (18:00-18:20)

新タンパク質結晶構造解析ビームライン”BL45XU”
熊坂崇 (JASRI)

総合討論

「SPring-8 アップデートについての情報共有」 (18:20-18:45)

熊坂崇 (JASRI)

研究会世話人:

梅名泰史 (岡山大学・異分野基礎科学研究所)

竹下浩平 (理化学研究所・放射光科学センター)

西澤知宏 (東京大学・生物科学)

研究会担当者:

放射光構造生物学研究会 副代表 熊坂崇 (JASRI)